

## 東京だんだん会運営の現況と今後について

東京だんだん会会長 尾野幹也

大きな災害を惹き起こした長雨もようやく終わり夏の青空となりました。今年初めに我が国にも侵入した COVID-19 が半年を経過した今益々猖獗を極めております。地球規模の伝染力を有し一旦収まったかと思えた国々にも再発の兆候が見られるところであります。

我が「東京だんだん会」も令和2年度第1回例会開催を5月16日に予定しておりましたが、4月末には都内の感染者が4,000人を超え東京都医師会も「緊急期記者会見」を開き、政府も各種会合の自粛を求める、といった社会状況から無期延期を決断したところであります。その後の我が国の経緯を見ますと一向に収まる気配がありません。また高齢感染者の病状が重篤に至るリスクが非常に高い、とされております。故郷松江の同じ高校に学んだ先輩、後輩が相集い簡単なスピーチも交え知的な雰囲気の中にも親しく盃を酌み交わし、明日の元氣を得る、という得難い会ではありますが、世間並には“高齢者団体”である当会の再開にはより慎重にならざるを得ません。

従いまして“公的な安全宣言”がなされ世間一般にも感染の惧れが解消した時点で再開のご通知をいたしたいと考えております。

このような状況下で、会員の絆を強める方策として、ホームページの活用が良いのではと考え、具体的な内容を幹事会で検討を行っております。皆様のご意見、ご提案をお待ちしています

どうか皆様多難な時ではありますが新型コロナを克服して再会を果たしましょう。

令和2年8月10日